

令和4年宇治田原町予算特別委員会

令和4年6月13日

午前10時開議

議事日程

日程第1 議案第28号 令和4年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）

1. 出席委員

委員長	5番	山内実貴子	委員
副委員長	8番	森山高広	委員
	1番	浅田晃弘	委員
	2番	原田周一	委員
	3番	宇佐美まり	委員
	4番	山本精	委員
	6番	上野雅央	委員
	7番	藤本英樹	委員
	9番	馬場哉	委員
	10番	榎木憲法	委員
	11番	今西利行	委員
	12番	谷口整	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町長	西谷信夫君
副町長	山下康之君
総務担当理事	奥谷明君
企画財政課長	村山和弘君
福祉課長	中村浩二君
福祉課課長補佐	太田智子君
健康対策課長	立原信子君

健康対策課課長補佐	奥	西	正	浩	君
子育て支援課長	岩	井	直	子	君
子育て支援課課長補佐	小	川	英	人	君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長	矢	野	里	志	君
庶務係 長	重	富	康	宏	君

開 会 午前10時00分

○委員長（山内実貴子） 皆さん、おはようございます。

本日は予算特別委員会を招集いたしましたところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日の委員会は、去る6月2日の本会議において上程され、本委員会に付託されました議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）につきまして、お手元に配付いたしました日程表により審査を行います。

本日の委員会において不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ありがとうございます。

ここで町長より発言を求められておりますので、これを許します。西谷町長。

○町長（西谷信夫） 皆さん、改めましておはようございます。

まずもって、お礼を申し上げたいと思います。先日、6月10日に京都府の令和4年度当初予算並びに2月の補正予算を含めた14カ月予算に係る京都府の公共事業等の箇所決定が発表されました。念願でありました都市計画道路宇治田原山手線の庁舎から工業団地国道307号までの区間の新規事業化が決定されました。本町にとっては輝かしい明るい未来の道筋がつけられたものと、この上ない喜びでいっぱいでございます。

これまで、啓発や要望活動等、必要性について大変ご尽力をいただきました谷口議長をはじめ議員の皆様、また平成26年2月より立ち上げていただきました住民会議の皆様、そして多くの署名にご協力をいただきました町内外の皆様、そして何より事業化のご英断をいただきました西脇隆俊京都府知事並びに関係各位に心から感謝を申し上げますとともにお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今後は一日も早い完成を目指し、京都府とさらに強調、連携を強め、粉骨砕身取り組んでまいり所存でございます。議員各位におかれましても、なお一層のご理解、ご協力、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いを申し上げます。

さて、6月定例会も6月2日に開会をいただきまして、7日には一般質問、また9日、10日には総務建設常任委員会及び文教厚生常任委員会とご審査を賜り、大変ご苦勞さまでございました。また、本日は予算特別委員会を開催いただきまして、誠にありがとうございます。本予算特別委員会に付託されました議案につきましては、議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）の1件で、新型コロナウイルス感染

症の影響長期化による生活・暮らしを支援する補正でございます。山内実貴子委員長様、また森山高広副委員長様におかれましては、大変ご苦勞をおかけしますが、どうぞよろしくお願いを申し上げますとともに、慎重な審査を賜りまして、ご可決賜りますようお願いを申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく皆様、お願い申し上げます。

○委員長（山内実貴子） ありがとうございます。

ただいまの出席委員は12名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の予算特別委員会を開きます。

◎議案第28号の説明、質疑、討論、採決

○委員長（山内実貴子） これより、議事に入ります。

日程第1、議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

当局より説明を求めます。村山企画財政課長。

○企画財政課長（村山和弘） それでは、皆さん、改めましておはようございます。

それでは、議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）につきましてご説明を申し上げます。

議案第28号の議案書と主要事項調書、また横表の資料をもって説明をさせていただきますと存じます。

まず、議案書1ページをご覧くださいと思います。歳入歳出それぞれ4,635万3,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ52億1,135万3,000円とするものでございます。

それでは、次に、主要事項調書と横表の資料をもちまして、ご説明をさせていただきますと思います。

最初に、横表の資料となりますが、1番、総務課所管の職員人件費でございます。こちらは、3番の新型コロナウイルス感染症予防対策事業費に関連し、職員人件費、時間外勤務手当100万円を補正するものでございます。

次に、横表の資料の2番、主要事項調書の1ページをご覧くださいと思います。福祉課所管の住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費でございます。コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあります方々の生活・暮らしの支援措置の強化といたしまして、

令和4年度住民税非課税世帯等に対しまして、1世帯当たり10万円の住民税非課税世帯等への臨時特別給付金を支給するもので、2,880万円を追加するものでございます。なお、令和3年コロナ克服・新時代開拓のための経済対策における本給付金を既に受給している世帯等は支給対象要件を満たさないことになっております。

次に、横表の3番、健康対策課所管の新型コロナウイルス感染症予防対策事業費でございます。主要事項調書は2ページとなっておりますので、併せてご覧いただきたいと思っております。新型コロナウイルスワクチンの接種につきまして、国において4回目の追加接種についての方針が示されましたことから、接種体制の確保に係る費用として953万3,000円を追加するものでございます。こちらは3回目接種後、5カ月以上経過した者のうち、接種日時点で①60歳以上の者、②18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する者、その他重症化リスクが高いと医師が認める者につきまして、1回の追加接種を行うもので、町内の集団接種会場、いわゆる役場庁舎、もしくは医療機関において予定をしているところでございます。

次に、横表の5番、子育て支援課所管の子育て世帯生活支援特別給付金事業費でございます。主要事項調書3ページを併せてご覧ください。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金、児童1人当たり5万円を支給するもので662万円を追加するものでございます。以上、説明とさせていただきますと思っております。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。今西委員。

○委員（今西利行） 今回の補正予算については、今、提案にあったように低所得者対策として非課税世帯に10万円、また非課税の子育て世帯に5万円給付されると、そのことについては当然な、必要な施策だというふうに思いますので、国の施策としては当然であると思いますが、ただ、私、先日、年金通知が届いたんですが、物価高騰しているにもかかわらず年金額が下げられていると。賃金が上がらない中で、ガソリンをはじめ、食費や光熱費など生活に欠かせないものが、多くの物が値上がりしていると、住民の家計を直撃しているというふうに思います。

このような状況の中で、多くの自治体が生活応援の施策を推進されております。例えば、八幡市をはじめ複数の自治体が大半の改定恩恵を受ける水道料金の基本料金を3カ月にわたり免除するとか、さらには子育て世帯を支援するために、以前、宇治田原町で

も取り組まれました学校給食費を期間限定でも含め無料にする自治体もあります。

こういう中で、住民生活を支援する町独自の施策については検討するべきだというふうに考えますがいかがでしょうか。

○委員長（山内実貴子） 村山課長。

○企画財政課長（村山和弘） 国のほうからも、今回の補正予算にも上がっておりますが、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」ということで、コロナの臨時交付金、こちらのほうの交付も予定をされているところでございます。その交付金を使って、近隣市町、先ほどおっしゃいました水道料金の減免といった形の施策を展開されているというふうな状況でございますが、本町の場合は、各課にまず、それぞれの課がそれぞれの生活者であったり事業者でというところを特に認識をしているという観点から、企画財政課、総務担当理事のほうからですが、生活支援、産業支援の支援を踏まえた取組等を幅広く募りたいということで、各課に検討、立案をお願いするというふうな文書を出してございまして、そのような内容のものにつきましては、今後、また9月定例会に提案したいというふうに考えているところでございます。

○委員長（山内実貴子） 今西委員。

○委員（今西利行） 分かりました。今後とも、コロナ禍がまだまだ収まらないと思えますし、またウクライナ等の問題もありますので、まだまだ不安定な時期が続くと思えますので、今言っていたように注視していただいて、必要な措置をお願いしたいというふうに思います。以上です。

○委員長（山内実貴子） ほかに、ございませんか。谷口委員。

○委員（谷口 整） 私もコロナ禍で影響を受けているのは何も住民税の非課税世帯だけではないという、今の今西さんの思いは全く一緒です。そんな中で、先般、総務建設常任委員会で水道料金の値上げ等の話があったときにも、今西さんと同じような水道料金の引下げも含めて検討すべきであるということをお話させていただいたんですけども、先ほど、村山課長の答弁ではコロナの臨時給付金の活用という国のほうの補助金、それを使ってと、9月に向けてという話やったんですけども、それはそれでいろんな施策をやってもらったらいいですけれども、それとは別に町独自としての施策等を考えるべきだと思うんですけども、その辺りはいかがでしょうか。

○委員長（山内実貴子） 村山課長。

○企画財政課長（村山和弘） まずは国からの財源、こちらも交付限度額が5,000万円近く来るといふふうにも聞いておりますので、まずそちらを有効に使う、先ほどか

ら出ていますが、近隣市町でも水道料金の減免というのが、担当者会議なんかの情報も聞きますと、向日市以南、南山城村まで15市町村のうち9団体から10団体がそのような施策を、これまでから展開されているというふうなことをお聞きもしておりますので、そういったものを中心に、各課から出てきた事業者、また住民への支援策というふうな形での予算をまた組んでいきたいというふうに考えております。

○委員長（山内実貴子） 谷口委員。

○委員（谷口 整） 確かに、国の給付金、これは有効に使ったらいと思うんですけども、私が言いたかったのは、特に水道なんかは今後やはり料金改定をしていかないか状況にあるわけですよ。

だから、その部分はそれに国の交付金を充てるのもありかもしれんけれども、むしろそれはそれで、ほかの部分で有効に使っていただいて、水道の料金等が今後、ある程度、大幅か小幅か知りませんが料金改定をするに向けての町独自としての減免とか、そういう辺りをこのコロナに絡めてやるべきだと。

言葉は悪いですけども、損して得取れじゃないですけども、料金改定の負担感を薄めるということで、そういう活用の仕方もあるんじゃないかということをお知らせしたので、その辺りをコロナの臨時交付金の活用と併せて考えていただけたらと思います。これは私の意見ですけども。何かあれば、答えてもらったら結構です。なければ結構です。

○委員長（山内実貴子） 西谷町長。

○町長（西谷信夫） 確かに各市町いろいろ減免措置をされておるということで、交付金の有効活用も含めて、やはり今、谷口委員がおっしゃっていただいた、やっぱり住民生活、これについて状況を十分把握する中でどのような軽減ができるのかということも、しっかりと検討させてもらって、反映させてまいりたいというふうに思います。よろしくをお願いします。

○委員（谷口 整） 結構です。

○委員長（山内実貴子） ほかに、ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようでございますので、質疑はこれにて終了し、討論、採決に入りたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 異議なしと認めます。

これより、討論を行います。討論ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(山内実貴子) 討論なしと認めます。

これより、議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算(第1号)の採決に入ります。原案に賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○委員長(山内実貴子) 挙手全員であります。よって、議案第28号、令和4年度宇治田原町一般会計補正予算(第1号)は原案どおり可決すべきものと決しました。

以上で今回、予算特別委員会に付託されました議案の審査を終了いたしました。この審査の結果につきましては、予算特別委員会委員長名をもって委員会報告書を議長宛てに提出いたします。

ただいま審査いただきました付託議案について、6月16日の本会議において討論される方は、既に配付しております討論通告書を6月14日火曜日午後5時までに議長宛て提出をお願いいたします。

委員各位の慎重な審査を賜りご協力ありがとうございました。

以上で予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

閉 会 午前10時17分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会委員長 山 内 実 貴 子